

# Rotary Club of AMA

weekly report.



2016~2017年度 国際ロータリーテーマ  
人類に奉仕するロータリー

事務所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル  
TEL (052) 451-6617 FAX (052) 451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp



2016~2017年度  
RI会長 ジョン F. ジャーム  
第2760地区ガバナー 服部 良男  
会長 篠田 正志  
副会長 横井 久雄  
幹事 黒川 元則

例会日 毎週月曜  
例会場 名鉄グランドホテル  
区域 愛知県・海部郡内3町村と2市

【会報委員会】  
板津 和博・北澤 英一・柏子見 昌敏  
熊沢 登・谷川 浩司・山田 幸治

## 2016年9月12日（雨のち曇り） 第2週 第2166回例会

Song ” 日も風も星も ”

Visitor 川崎真由美君（串間RC）

### Attendance

会員	78名	欠席	11名	出席率	82.81%
----	-----	----	-----	-----	--------

### 8月分修正出席率の報告

8月 1日出席率	100%	欠席	0名
8月 8日出席率	100%	欠席	0名
8月22日出席率	100%	欠席	0名
8月29日出席率	100%	欠席	0名

President Time 篠田正志 会長



皆さん、こんにちは。ビジターの皆様、ようこそ例会にご出席下さり有難うございました。心より感謝申し上げます。太田吉亮様には、後程の卓話楽しみにしております。よろしく申し上げます。

9月7日より9月11日迄の日程でモンゴル国トウブ県アルガラント村砂漠化対策支援事業の引渡式に、会員9名で訪問して参りました。このプロジェクトは、ロータリー財団地区補助金を活用し、あまRCの予算と合わせて130万円を頂き、ウランバートル市のフレRCと共同で実施した

事業です。このアルガラント村一帯は、気候変動の影響で砂漠化がより進み、近郊の草原や畑に悪影響を及ぼしております。今回は高さ1.5mの金属支柱と金属シートで防護柵を建設し、幅25m、長さ300mの敷地内に、ポプラ、ニレ、サジーの計600本の植樹を行い、深さ86mの井戸を新設する内容の砂漠化防止事業です。この植林に対して村民、ボランティア総勢500名が参加し、トウブ県の環境庁の責任者の方より、協力に対してのお礼の挨拶があり、感謝状を頂いて参りました。また、過去2回教育支援を行いました、ウランバートル第59学校を訪問して来ました。当時建設しました教室、トイレ、ボイラー等を再確認し、皆様方から頂いた浄財で文房具を子供達にプレゼントし、先生方も共に大変喜んで、笑顔がとても素晴らしく思いました。あまRCの奉仕の実績にただただ感銘を受けて学校を後にしました。今回の事業で、フレRCの素晴らしい心温まる歓迎と会員同士の強い絆が結ばれ、RI会長のテーマであります「人類に奉仕するロータリー」の素晴らしさが実感でき、参加したメンバー全員が感動と感激、そしてロー

**Today** 9月23日（第2167回）  
担当 篠田正志 会長  
演題 ガバナー公式訪問  
津島RCと合同（ホスト 津島RC）  
（9/26例会振替）

**Next Week** 10月 3日（第2168回）  
担当 上田博行 米山奨学委員長  
演題 卓話「米山記念奨学事業の現状について」  
地区米山奨学委員会  
副委員長 山田 直樹君

## 新 会 員 紹 介

ターリーの奉仕の活動に参加できた喜びをともに感じた訪問であったと思います。3年後には、植林が立派に生長しているとの事です。出来れば、再度訪問し、今回の事業の意識、完成度を再確認してきたいと思っております。

最後に前田由幸さん、入会おめでとうございます。一日も早く馴染んで、素晴らしいロータリアンになって頂く事をお願いして挨拶と代えさせていただきます。

### Secretary Report 黒川元則 幹事

- 1 次週9月19日（月）は祭日による休会です。
- 2 次回例会は9月23日（金）ガバナー公式訪問です。津島RCとの合同例会です。9月26日（月）の例会振替となります。  
※ネクタイ着用をお願いします。
- 3 あまRCに第38回米山功労クラブ感謝状が参りました。

氏 名	まえだ よしゆき 前田 由幸
生 年 月 日	昭和33年2月8日
事 業 所 名	名鉄不動産（株）
同 上 英 文	Real Estate Maintenance Servise
所 在 地	〒450-0002 中村区名駅4-26-25
TEL	052-581-1221
FAX	052-581-1915
職 業 分 類	不動産管理
ス ポ ン サ ー	山本輝幸
所 属 委 員 会	ニコボックス
最 終 学 歴	山形大学 人文学部
趣 味	読書、散策
結 婚 記 念 日	11月3日



- 4 モンゴル・トブス県の環境庁より感謝状をいただきました。



奇術部 山田幸治君の手品

ご投函有り難うございます

篠田正志 会長

太田吉亮様、本日の卓話をよろしくお願ひします。

モンゴル砂漠化対策支援事業、無事に終わる事が出来ました。中西国際奉仕委員長はじめ参加の皆様、大変お疲れ様でした。

あま市美和かしの木会のチャリティーゴルフ参加の皆様、有り難うございました。

前田由幸君、入会おめでとう。

横井久雄 副会長

日本新工芸家連盟理事 太田吉亮様、本日の卓話、よろしくお願ひします。

モンゴル訪問の皆様、ご苦労様でした。

黒川元則 幹事

太田様、本日の卓話、よろしくお願ひします。

モンゴル参加の皆様、お疲れ様でした。

中西 巧君

9月7日から5日間の行程で、モンゴル砂漠化対策支援事業の引渡式に行き参りました。ゴビ砂漠の砂が黄砂となって日本に飛んでこない事を願って、無事引き渡す事が出来ました。ご参加頂きました会員の皆様、ご協力頂き、大変有り難うございました。

前田重廣君

八十八会京都、ご苦労様でした。

あま市美和かしの木チャリティーGolf参加者の皆様、有り難う。

モンゴル視察、ご苦労様でした。

東海広光君

双子の孫の名前が決まりました。男の子「裕文」、女の子「友香理」。

山田幸治君

奇術部長としてPRさせて戴きます。

北野庸夫君

9月10日八十八会、洛陽三十三観音、満願しました。

同行の皆様、お世話になりました。

大竹敬一君

モンゴルに行かれた皆様、本当にお疲れ様でした。

上田博行君

後藤雅光君、お世話になり有り難うございました。

太田吉亮さん（おーちゃん）、ようこそあまRCへ。

紅谷幸政君

後藤雅光君、八十八会参加の皆様、洛陽三十三観音満願成就、大変お世話になりました。

家田安啓君

今日も司会です。

今西邦弘君

モンゴルから無事帰国できました。参加された方々、お疲れ様でした。

伊藤英毅君

昨晚、伊賀上野の薪能、無事終わりました。天気に恵まれて、月も綺麗でした。合掌。

伊藤正征君

先日、あま市かしの木会チャリティーコンペに参加させて頂きました。篠田正志会長はじめ、前田重廣君、高山君、お世話になりました。結果は150名中16位、りんご1箱ゲットしました。

加藤春視君

東海年度理事会打ち上げ、花火、ゴルフと楽しく過ごしました。有り難うございました。

川口信義君

傘をさす歳になったとは思わないようにしています。

栗木和夫君

モンゴル植樹支援事業参加の皆様、今後は海外へ出かける時、パスポートは必要ですよ。

児玉憲之君

モンゴル支援事業に参加の皆様、お疲れ様でした。

水野 眞君

18回「銀の鈴」音楽フェスティバル、いつも満員のお客様に感動します。感謝です。

大西晃弘君

ニコボックス委員の皆様、お疲れ様です。

立松絹久君

モンゴル支援事業参加の皆様、お疲れ様でした。最後までいたかったです。

山田尊久君

コーラス終了後、先生より「山田さんの声いいね」と一言。嬉しさがこみ上げる。

合計 54,000円

## 「七宝焼きあれこれ」

日展会友日本新工芸家連盟理事

太田 吉亮氏



## ・七宝焼きとは

金属（主に銀・銅）にガラスを焼き付けているものを指します。類似のものとしては、ホーロー製品があります。しかし一部金属胎以外の陶胎、省胎の七宝もあります。

## ・七宝の名称

仏典に載っている七宝（7つの宝）、金、銀、シャコ、メノウ、真珠、マイエ（まき貝）のような綺麗な色を出せる、表現できることからきています。

## ・七宝の歴史

古代エジプト時代まで遡ります。ツタンカーメンの柩に七宝が見られます。古代にはラピスラズリという青い石などを使った装飾品が多く見られ、その中に七宝の原点もあるのではないかと思います。その後、ピサンチン帝国（東ローマ帝国）時代に一度大きく発展し、有線七宝、エマイユ七宝など、色々な七宝が作られております。現在のヨーロッパでは、フランス七宝、スイス七宝等があります。ヨーロッパの七宝は、エマイユと言われる、絵画（油絵）のような七宝が中心になっており、学、装飾品（ペンダント・ブローチ）、スイスの時計の文字盤などに使われています。

## ・日本への伝来

シルクロードを通して、中国からと朝鮮半島からの2つのルートで日本に入って来たと思われます。現在、日本で一番古い七宝焼きは、古墳時代の奈良県明日村牽牛子塚（ケンゴウシツカ）古墳より出土した装飾品です。奈良時代には完成度の高いものとして、正倉院の宝物の黄金瑠璃鈿背

十二稜鏡がありますが、あまりにも時代的に日本製作されたものとしては完成度が高く、渡来物ではないかと思われまます。その後、平安時代には、表舞台には七宝製品はなく、武士の時代になり城などの「くぎ隠」「襖の手」等に七宝がみられる様になり、名古屋城にも「くぎ隠」「襖の手」等使われております。また、16世紀から17世紀に平田道仁なる人物が、刀の装具等に七宝を使用しております。しかしこの頃の七宝は、古来からの七宝の流れを伝えるものであり、尾張七宝とはルーツが異なるものです。

## ・尾張七宝のルーツ

1450年代、中国明時代の景泰帝時代に、上質なコバルトが手にはいるようになり、青色の綺麗な七宝が出来るようになりました。この時代の青色七宝を景泰藍といいます。その後、中国では七宝を称して景泰藍と言うこともあります。その中国七宝（景泰藍）がオランダ船で日本に入り、江戸末期に尾張城下にて尾張藩下級武士 梶常吉の手に渡り、そこで自分で製作したいと思い、独自の研究がなされ、尾張七宝の原型が出来上がりました。その後、現在のあま市七宝町遠島の地にて、明治時代に大きく開花し、パリ万博にも出展しております。

## 例 会 変 更

例会日	クラブ名	場 所
9/27 (火)	名古屋千種	名古屋東急ホテル
	名古屋城北	栄東急REIホテル
	名古屋錦	名古屋ガーデンパレス
9/28 (水)	名古屋守山	マリオットアソシア
9/29 (木)	名古屋丸の内	クレストンホテル
9/30 (金)	名古屋北	休会
10/3 (月)	名古屋東	ウェスティンナゴヤキャッスル

